

保護者の皆様

北海道中札内高等養護学校長 太田 千佳子

「学校の教育に関するアンケート」の集計結果について

向春の候、保護者の皆さまにおかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施しました学校の教育に関するアンケートの集計結果を次のとおり報告させていただきます。

記

1 保護者アンケート結果

(1) アンケート回収率 72% (80/111)

(2) 結果

		(A:できている B:おおむね C:不十分 D:できていない)					参考
	評価項目	評価				平均	R4年度
		A(4)	B(3)	C(2)	D(1)		
教育計画 教育活動	1 個別の指導計画の作成など、お子様の教育計画について十分な説明がされていますか。	63	17	1	0	3.8	3.7
	2 通知票は、見やすく、わかりやすいものとなっていますか。	60	18	1	0	3.7	3.7
	3 男女交際や性指導など、思春期に対応した生徒指導が実施されていると思いますか。	37	37	6	0	3.4	3.4
家庭との 連携	4 学校や寄宿舎での活動に関する情報は、適切に伝えられていますか。	58	21	2	0	3.7	3.6
	5 進路に関する情報は、適切に提供されていますか。	53	21	4	1	3.6	3.5
	6 お子様の指導にあたって、学校や寄宿舎と家庭との役割を効果的に分担していますか。	54	24	2	0	3.7	3.5
施設管理	7 学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	51	21	8	1	3.5	3.5
職員の 対応	8 教員や寄宿舎指導員は、お子様のことについて適切に相談に応じていますか。	63	16	2	0	3.8	3.6
	9 教職員や寄宿舎指導員は、体罰（暴言など不適切な指導も）のない節度ある行動、態度がとられ、指導ができていますか。	67	13	1	0	3.8	3.7
	10 いじめや人間関係のトラブルについて、適切に対応してくれていると思いますか。	55	23	2	1	3.6	3.7
	11 事務職員は、事務手続き全般（就学奨励費、各種証明書等）について、説明や相談に適切に応じていますか。	48	29	3	1	3.5	3.6
PTA活動	12 P T A 活動は保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、社会情勢にあった活動となっているか。	47	31	1	1	3.6	3.5
						3.6	3.6

(3) 考察

集計結果では、多くの保護者の皆様が、本校の教育活動に対して御理解をいただいていると考えます。教育活動の項目では、性指導や思春期に対応した生徒指導に課題を感じる方が、他の項目と比較すると多く回答されています。

思春期における生徒指導に関して、学校としては重要な課題と認識しております。生徒の健全な成長と発達を支援するため、性教育や健全な人間関係の築き方について丁寧に指導するとともに、生徒が安

心して相談できる環境を整えていきます。その際、御家庭との連携が大切となりますので、保護者の皆様の協力も得ながら生徒の育ちを支えていきたいと考えます。

学校の施設設備の項目では、最近の猛暑に関わり、冷房施設の設置を求める御意見を多数いただきました。北海道教育委員会でも現在検討を進めておりますが、いつから冷房設備が設置されるかの詳細は未定です。なお、本校の来年度の夏季休業期間につきましては、延長する方向で検討しております。

2 生徒アンケート結果

(1) アンケート回収率 72% (80/115)

(2) 結果

評価項目		評価					
		はい	いいえ	わからない			
1	自分のことをわかってくれる先生がいる	67	3	13			
2	先生はどの生徒にも公平に接してくれる	はい	いいえ	わからない			
		62	6	17			
3	悩んだり困ったときにだれに相談しますか	学校の先生	寄宿舎の先生	友だち	親	兄弟	相談しない
		56	40	43	61	14	10
4	学校に行くのが楽しい	とても	まあまあ	あまり	まったく		
		35	39	5	4		
5	寄宿舎の生活が楽しい	とても	まあまあ	あまり	まったく		
		31	18	10	3		
6	先生はわかりやすい授業をしてくれる	はい	いいえ	わからない			
		73	3	8			
7	学校教育目標の「5つの力」が身につきましたか						
7①	心身の健康を維持・増進する力 「健康でたくましい心とからだを持つこと」	とても	まあまあ	あまり	まったく		
		23	43	10	7		
7②	人と関わる力 「適切なコミュニケーションを図り、素直な心を持つこと」	とても	まあまあ	あまり	まったく		
		21	47	13	2		
7③	自分を整える力 「周囲と相談しながら感情や行動を調整すること」	とても	まあまあ	あまり	まったく		
		23	37	17	6		
7④	主体的に生活する力 「主体的に学び（自ら進んで考えて）、生き生きと活動すること」	とても	まあまあ	あまり	まったく		
		26	38	13	6		
7⑤	意欲的に働く力 「働く力を身に付け、働く喜びを感じること」	とても	まあまあ	あまり	まったく		
		34	34	11	4		

(3) 考察

各項目に対して肯定的な回答が多く、生活が安定していることが伺えますが、学校および寄宿舎生活に対する課題を感じている生徒も一定数おります。また、学校教育目標の育成すべき5つの力については、「自分を整える力（感情や行動の調整）」について課題を感じている生徒が多く見られました。

学校生活で自分と向き合い自己理解を深めていくことが、卒業後の生活につながると考えます。生徒一人一人の実態に応じた支援を進められるよう、保護者の皆様と連携しながら今後も取り組みを進めてまいります。

最後になりますが、生徒や保護者、地域の方々から信頼される学校を目指し、教育活動の充実に努めて参りますので、今後とも御理解、御協力をよろしくお願いいたします。